



WING ニュース

協同組合ウイングバレイ

No.90 2012年新年特集号

発行所 総社市久代1408-6
協同組合ウイングバレイ
発行責任者 政 宗 克 也
ホームページアドレス
<http://www.wingvalley.or.jp/>
印刷所 総社市総社 1 丁目10番24号
柳本印刷株式会社



年頭挨拶

協同組合ウイングバレイ
理事長

晝田 眞 三

あけましておめでとうございます。本年が皆様にとりまして昨年以上に良い年になりましようお祈り申し上げます。

さて昨年は東日本大震災・福島原発・津波被害により東北・北関東に立地する多くの自動車関連メーカーが被災され、部品が揃わなため西日本の我々も操業停止といった被害を受けました。これま

た「サプライ・チェーン」という英語が日常的な日本語になりました。

加えて下期スタート間もなく、タイの洪水が世界の「サプライ・チェーン」に大きな影響を与え、自動車メーカー調達部門をはじめ関係者は走り回ったと聞きます。事実、我々の中にも代替品の受注をされた会社があるようです。

さらには、超円高（財務省関係には円高とは言えないレベルとの見方もある）による輸出採算悪化で下期は生産調整局面となりま

た。このまま長期にわたる円高となればグローバル・スモールがタイ生産となつたと同様に海外シフトが進行し国内の工場では縮小の一途となります。その影響はあまりに大きく、対策なしには壊滅状態になりかねません。対照的に欧州通貨不安からユーロ安となりドイツ自動車メーカーは絶好調です。政府による具体的な対策が求められます。組合員企業最大のお客様である三菱自動車工業のタ

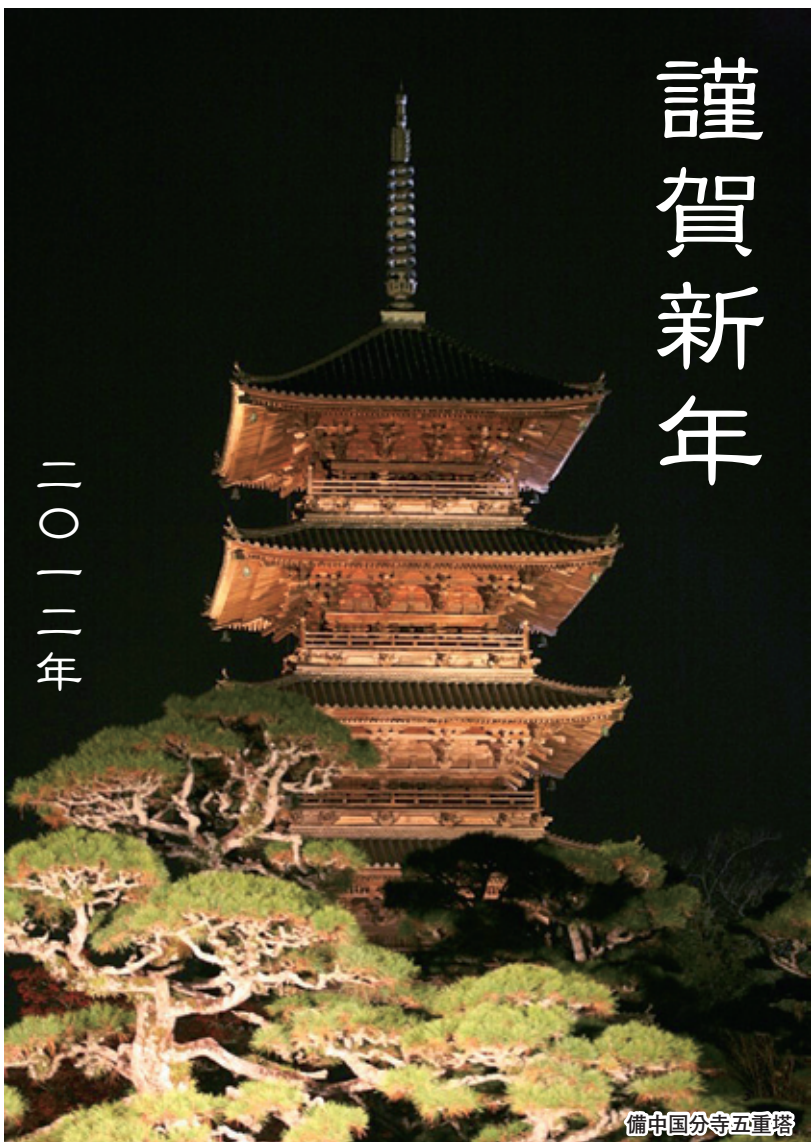
イ子会社MMThは昨年11月14日洪水以来休止していた生産ラインを再稼働されました。他社に先駆けての再稼働となり、東日本大震災後の復旧と同様、その意欲とリスクに強い体制は高く評価されたものと思いま

す。再稼働後は週7日操業となり挽回のため最大限の努力をされています。ドル箱と言われるMMThの復旧による三菱自動車連結決算好転に期待したいもので

す。タイをはじめとする活況を呈するアジアにウイングバレイ内でも幾つかの企業が新たに拠点を設けられたり工場拡張を実施されると聞いています。成長するアジアで組合員企業の力強い成功を願うところで

謹賀新年

二〇一二年



備中国分寺五重塔

ウイングバレイの皆様には、ご家族で新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。又、日頃は弊社の生産・拡張にご尽力賜っておりま



三菱自動車工業株式会社
執行役員
水島製作所長

横井 英雄

おかげ様で、災害の影響は大きくならずすみそですが、六重苦ともいわれる環境下、極めて厳しい状況が続いています。

「愚直に・地道に・執念深く」基本を追及するとともに、新しいアイデアを「変化のスピード」をもつて実行していきます。本年がウイングバレイの皆様にとって実りある、良い年になることをお祈りし、新年のご挨拶いたします。

変化のスピードをもって実行



しくお願ひします。ウイングバレイも組合員企業発展のお手伝いとして永年の課題であった西団地の排水設備更新をはじめとするインフラ整備などを通して地味でも欠かせない存在としてお役に立って参りたいと思います。今年も宜しくお願いします。



三菱自動車工業株式会社
調達本部長

服部 行博

技術・コスト面での競争力強化

新年あけましておめでとうございます。

平素より、格別なご高配を賜り、紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、3月の東日本大震災、そして10月のタイ大洪水と大きな天災に見舞われた一年でありました。改めて、被害を受けられたお取引先、及び関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に、弊社の生産正常化に向けて多大なるご協力をいただいたことについてお礼申し上げます。

さて、2012年は当社の次期車開発・生産の更なる進展が期待される年です。まず、今春に当社のグローバル戦略車『ミラージュ』のタイ立ち上げが予定されています。「新興国におけるエントリーカー（経済性）」と「先進国における低燃費／低CO₂車（環境性能）」というニーズを両立させる「小型」「低燃費」「低価格」をコンセプトとした新時代のコンパクトカーであり、タイ国内はもちろんのこと、日本、アセアン、欧州、北米など世界へ出荷予定であります。タイ洪水による生産準備への影響も多少ありま

したが、お取引先の懸命な復旧活動により遅れを挽回し、万全な立ち上がりに向け品質玉成中であります。水島地区のトピックスとしましては、昨年11月に軽商用電気自動車『MINI CAB・MieV』を投入しEV市場の開拓を更に進めました。また水島製作所生産を前提とした協業による新車開発も進んでおります。

タイ洪水による台数減や円高影響など、今年も大変厳しい経営環境の中でのスタートとなりますが、年計達成にとどまらず、これを上回る生産、販売台数を実現出来るよう全力で取り組んで参りますので、お取引先につきましてもご協力をお願いするとともに、本年がウイングバレイの皆様方にとって、輝かしい一年になりますことを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

井原精機(株)

◇新経営理念の運用開始

会社の経営理念(使命・価値観・ビジョン等)の再構築のために、若手・中堅社員によるプロジェクトチームが骨子をとりまとめ、全役員・管理職との意見交換を行い、4月から新経営理念の運用を開始しました。

職に対しては、実践するための能力向上を目的に、「ISC RPT実践マネジメント研修」を6回実施しました。

また、2008年からは燃費向上に有効な電動パワーステアリング用のインプットシャフトやローアライメント等の「加工」高周波焼入れ」の生産を開始しています。

今後も拡大を続ける中国市場での競争力強化と顧客の現地生産化ニーズに対応するため、昨年7月に増資を行った上で11月に新工場用地を取得し、2012年6月に完成予定の新工場で、7月には5段冷間鍛造パーツフォーマーを設置し、10月からの量産稼働を予定しています。

また、一昨年に行った全社員へのアンケート結果の開示とともに、各職場で「職場活性化ミーティング」を行い課題・要望を明確にし、内容別に分類して取り組みを行っています。

さらに、新経営理念の理解・浸透のために、4月1日から述べ12回に渡り、社長が自ら全社員に詳しく説明を行い、また、管理



設立、同年10月より本格量を開始しました。

各カーメーカーの現地生産化が急激に進む中、akebonoとしても海外現調化を加速させ、高品質・低コストの製品を最短のリードタイムで現地メーカーへ提供することが要求されています。

そのような環境の中、山陽製造においてもアジア圏の「ドラムブレーキマザー工場」として、一昨年よりAAIJ(インドネシア)及びACG(中国広州)でのブレーキアッシー現調化に向けた生産設備提供、そ

それに伴う生産ライン立上げ支援が急加速して来ています。

直近では、6月29日より8月31日にかけて、3陣に分けてACG(中国広州)での日産8インチドラムブレーキの生産ライン(溶組み工程)ブレーキ組立工程までの一連工程及び、ホイールシンダー加工(組立)の設備設置及び立上げ支援を無事終了し、現在量

産先行トライ・訓練中であり、SOPは2012年2月に向けて、国内外一丸となって展開中です。



広州曙光 生産技術メンバーと共に

(株)丸文

◇コイン式セルフ洗車機導入

昨年7月に給油所に多機能・高速洗車ができるコイン式セルフ洗車機を導入し、同時に美しい発色で汚れにくいガラスコーティング「keeper」のPROSHOPも始めました。

最近ではセルフサビスの給油所が増え、車の点検・確認がおりそかになる傾向に

あり給油時に提案することにより、お客様への利便性を一層向上させました。

曙ブレーキ山陽製造株式会社
社長 河原光祥
株式会社アステア
会長 水松幹夫
井原精機株式会社
社長 上野和彦
荻野鉄工株式会社
社長 荻野祐史
享栄エンジニアリング株式会社
社長 本多美奈子

株式会社共立精機
社長 石黒和之

ヒルタ工業(株)

◇晝田眞三会長・晝田哲士社長の新体制

3月14日の定時株主総会において役員改選が行われ、晝田眞三社長が代表取締役会長に、晝田哲士副社長が代表取締役社長にそれぞれ就任しました。

◇豊橋工場の操業スタート

1月、中国広東省佛山市に晝田(佛山)自動車部件有限公司を設立した。当社のグローバル展開としては、北米、タイに続く第三の海外生産拠点です。

5月23日に安全祈願祭を執り行い、11月30日工場建屋が完成しました。操業開始は明2012年初の予定。敷地面積11,000㎡、建屋面積6,048㎡。

◇タイHAS社の第二工場新設

1月26日起工式の後、急

ピッチで建設が進められていたHAS第二工場が十一月十八日に完成し安全祈願祭が執り行われました。

建屋面積は10,000㎡。各社エコ・カー・プロジェクト用の設備が導入され、タイにおける生産基盤が更に強固なものになりました。

製造現場における改善という変化が週単位で見えるようになり、マテハンロボットのパイプ曲げ加工の自動化やAGV(無人搬送車両)による触媒の無人搬

送化などの改善が一步一歩進んでいます。本年も、ラインでフレキシブルな生産が行えるよう、全員参加で改善を推進していきます。

◇新規受注について
当社が培ってきた排気や燃料系の設計・開発技術やシーム溶接などの生産技術力を結集して、マフラーやDPF Assyなどを受注しました。更に、従来の燃料タンクやマフラーといったエンジン関連部品以外に、三菱自動車様の電気自動車で電池間を繋ぐバスバーという部品をプレス技術の応用から受注、納入を開始しました。

これからもこれらの製品の品質玉成や更なる工法改善などを継続し、お客さまに満足いただける製品づくりを行ってまいります。

三惠工業株式会社
社長 会田正人
新興工業株式会社
社長 笹沼靖憲
総社工業株式会社
社長 藤井裕幸
ヒルタ工業株式会社
会長 晝田眞三
株式会社丸文
社長 横田直樹
三乗工業株式会社
社長 眞田達也

総社工業(株)

◇トルコン部品の受注

当社で初となるV社殿向けトルコン部品を受注し、量産納入を開始しました。

今後この分野の強化を図り業容拡充を目指します。

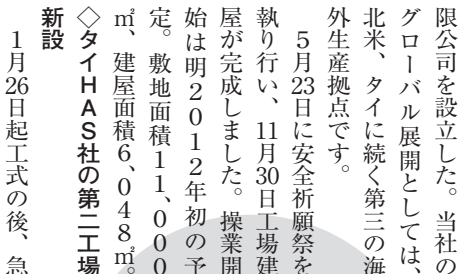
◇客先表彰受賞

D社殿よりCOO賞、J社殿よりJEPSEKセレクト賞を各々受賞しました。

これを機に当該諸活動の一層のステップアップに努めていきます。

◇新出荷場の新設

近年物量増大に伴い狭隘となっていたため、第2工場南側に新出荷場を新設し、物流面での利便性と効率向上に寄与出来ました。



10月8日、新規塗装設備の起動式にともない本格的な操業に入りました。敷地面積40,505㎡、建屋面積19,215㎡。



機体は日本の技術導入

部品組み立て装置 享栄エンジニアリング製作

2011年10月8日 山陽新聞朝刊掲載

正 賀 協同組合
ウイングバレイ
理事長 晝田眞三

(株)アステア

◇日本EWIからの事業譲り受け
2011年3月に日本EWI株式会社から事業全てを譲り受けしました。グローバルな厳しい競争の中、生き残りをかけてアステアトータルでの体質強化を図り、将来的な国内外の事業展開を見据えた足固めの一年でもありました。

◇小田社長就任

2011年6月に就任した小田社長が水松会長とともに一層の組織強化を実施しました。また8つの改善プロジェクトチームを結成し、あらゆる経費の低減を図りました。

この活動で大きな成果を上げた部門へは社長表彰を実施し、社員のモチベーションもおいに向上しました。

新興工業(株)

◇わが社のEV活動

昨年のアイミープに続き、わが社で2台目の電気自動車、ミニキャブミープを購入致しました。従来、本社工場と久代工場の工具等の運搬にガソリンタイプのミニキャブを使用していましたが、EVの採用によって、ガソリン消費量、CO₂排出量の削減に努めます。

又、岡山次世代自動車技術研究開発にも参加し、将来のEV社会と自社のかわりについて検討を進めています。

◇タイに第三工場設立

今年の3月に、タイ国の



◇東京モーターショーに出展

「Smart Technology」をキーワードに2011年12月3日から11日まで開催された第42回東京モーターショーへ新開発商品/技術を出展致しました。

アステアブースへは完成車メーカー様・部品メーカー様を始め、多くの方々

にご来場頂き(約600人/日)、加熱方法に直接通電を採用した安価で省エネルギーな新ホットプレス技術「Smart Hot Press (SHP)」やセルフ給油での利便性と安全性を追求した「キャップレスフイラバ

イプ (Smart Fuel I)」に対し、高い関心と評価を頂きました。

人であり、社名の由来は「新興工業が、和と信念を持つて中国でチャレンジしていく」というものです。

今後更に加速されていくグローバル競争の時代の中で、誠心誠意力を尽くしながら、持ち前のチームワークと思いを大切に、中国とのリレーションシップを大切に、新和信社を通じて、当社の想いをカタチにして行きます。

へマラート・イースタンシーボード工業団地へ当社3つ目の拠点となるヘマラート工場の建設を建築いたしました。MMC様をはじめ、多くのお客様が集積されている、エリアに進出させて頂くことにより身近で貢献出来る企業となるべく尽力して参ります。

◇中国に新会社設立

昨年8月に中国の

江蘇省・無錫市に「無錫新和信精密機械配件有限公司」(以下、新和信)を設立し、記念式典を致しました。新興工業(株)の100%出資現地法



中国新和信 建設中の事務所棟と工場

荻野鉄工(株)

◇カエリ取り工数削減
加工後のカエリ取り工数削減のため、客先・材料メーカーと打合せを行い、素材にC面の追加を実施しました。その結果カエリ取り工数がなくなりました。

◇M社向けにてエンジン部品の生産立ち上げ
1カ月の緊急対応要請があり、短納期での緊急立ち上げ及び生産納入対応を実施し、玉成しました。

◇ISO定期審査に合格

昨年4月にISO9001、11月にISO14001の定期審査があり、それぞれ合格しました。今後もマネジメントシステム全体のレベルアップを計っていきます。

(株)共立精機

◇タイ工場建設工ライン立上げ
2011年6月にタイ子会社 Kyoritsu Seiki (Thailand) Co., Ltd. を設立しました。バンコクの南東95km (MTH社より11km) に位置するラヨン県ピントーン工業団地に約16km²の土地を取得し、約3km²の工場を建設。12年1月操業開始予定で、MTH社殿向けEL車用ボールジョイントの設備ラインの立上げ、現地社員の作業指導・教育、体制整備、インフラ整備を日本・タイで一丸となつて進めています。

◇革新的生産方式への取り組み

トヨタ生産方式を基



Kyoritsu Seiki (Thailand) Co., Ltd. 工場完成予想図

三乗工業(株)

◇「ミノリ・エンジンサイレンサー」の開発
自動車部品製造時に発生するPP・PET材料の端材を利用し、災害時の緊急電源、イベント・祭り会場、工事現場等で使用される発



ミノリ・エンジンサイレンサー

電機防音対策として、手軽に設置できる遮音・吸音ボックス「ミノリ・エンジンサイレンサー」を開発しました。

これまで自動車部品製造で培ってきた、音・熱・振動技術を活かし、騒音を50% (15dB) 削減、一人で簡単に組立、コンパクトに収納でき、必要時にすぐ使用できる商品です。

◇PEC現場改善活動について

本年1月よりPEC産業教育センター様のご指導のもと「トヨタ生産方式」を柱とした現場改善を進めています。

本とする革新的生産方式に全社一丸で取り組んだ。トヨタ生産方式の真髄は徹底したムダの排除である。ムダを排除する上で「見える化」(目で見える管理)を徹底する事を基本に活動した。2大ムダ①人のムダ・動作、運搬のムダ②モノのムダ・停滞のムダの排除を徹底した。

また、「押し込み生産」から「確定情報による生産」への転換、集荷・出荷作業のムダ取り改善「見える化」の推進、作業者の意識改革を強力に進めて来たが、今後更に取組みを広げていきます。

◇意識改革のアクションプラン

厳しい経営環境に対応し新しいプロセスを作り上げていくために、管理職の意識を改革するアクションプランを作成し、活動を開始しました。全社員への挨拶運動展開の呼びかけに始まり、5S活動の再点検、主要部品の採算調査を実施しました。

身近なところから着手しましたが、今後幅広い分野に亘つての取組をし、選ばれるKYORITSUを目指して、意識を変え、行動を変え、会社を「変える」取組を展開して参ります。

謹賀新年



総社市議会議員
笠原 武士

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、ご家族お揃いで輝かしい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年を振り返ってみます

と、国内では東日本の大震災、国外ではタイの大洪水と続き、どちらも部品の供給ルートが寸断されてしましました。そのために自動車産業のみならず、製造業全体が大きな打撃を受けました。



ウイングバレイ組合の定期大会に参加

全体が大きな打撃を受けました。そのようなか中で、三菱自動車工業においては、新しい小型電気自動車が発売を行い、明るい話題も出てきております。

総社市の行政におきましては、昨年10月より片岡市長の二期目が始まり、次々に新しい事業がスタートしています。新総社大橋(仮)も川の中央部で橋脚の工事が順調に進んでおり、平成26年度末の完成予定です。また、総社中学校の建替えを含む学校耐震化工事もこれからです。一方でソフト事業としては、「障がい者一〇〇〇人雇用」・交通弱者の足となる集合タクシー「雪舟くん」の充実にも取り組んでいます。これ等ハード・ソフトの事業いざれもが、所期の目標を達成するために、正しい方法で進行しているか、市議会としては、十分なチェックを行い又修正案も提出してまいります。

昨年の末、三菱水島労働組合支部長の水戸岡さんと共に自動車に係る税金の軽減を国に陳情するために片岡市長を訪問しました。市長からは前向きな返事を頂いております。自動車の国内販売を伸ばして仕事量と雇用を確保することは、自動車産業にとって緊急の課題であります。自動車の税制制度については、現在国の税制調査会においても大きなテーマとなっており、新聞やテレビを通じて報道されています。消費税等も含む税制制度全体の中で議論される問題でしょうが、今後注意深く見守って生きたいと思っております。

最後に本年が皆様方にとってすばらしい年になることをご祈念申し上げて年頭のご挨拶とさせていただきます。

備中保健所からお知らせ

このごろ疲れていませんか？

不眠や心の疲れは、うつ病のサインかも

…ウイングバレイで働く全世代の8割の人がストレスを感じ、ストレスを感じたとき「よく眠れない」「あまり眠れない」と答えた人の割合は年代が高くなるほど増えていました…

○うつ病は身近な病気です。誰でもかかる可能性があります。

- *心の弱さや怠けでなく、脳の神経系の病気です。
- *早期発見・治療が大切。
- *きっかけは、一つだけではありません。



○職場や家庭で「あれっ」と思った時には、

- *まず、声をかけてみる。「最近、疲れてる？」
- *聞き役に徹して、聴く。
- *相手の気持ちを理解し、受け入れる。
- *気持ちに共感し、一緒に考える。
- *内容は、人に漏らさない。
- *受診等につき添う。

○うつ病を予防するには？

- *スポーツ・趣味等のストレス解消が有効
- *周りの人とのコミュニケーションを！
- *ものの見方や考え方を少し変えてみる。
- *少し深刻な問題には、一人で抱え込まないでまず、相談をしよう。
- *しっかりと休養を！
- *「よく眠れない」「イライラが続く」等の症状がある時は受診を！

○うつ病のチェックリスト

自分チェック

- ☐ 理由もなく悲しい、憂うつな気分だ
- ☐ 何事にも興味がわかず、楽しくない
- ☐ 疲れやすい(だるい)、元気がない
- ☐ 気力がわかない、何もする気がしない
- ☐ ものごとに集中したり、決断することができない
- ☐ 寝つきが悪く、朝早く目が覚めてしまう
- ☐ 食欲がない、急激に痩せた
- ☐ 他人と接するのがおっくう、つらい
- ☐ 心配事が頭から離れず、常に不安を感じる
- ☐ 失敗や悲しみ、失望から立ち直れない
- ☐ 自分を責め、自分は価値がないと感じる

周囲の人チェック

- ☐ 表情が暗く、元気がない
- ☐ 体調の不良を訴えることが増えた
- ☐ ミスが増えたり仕事がかどらなくなった
- ☐ 人づきあいを避けるようになった
- ☐ 口数が少なくなった
- ☐ 遅刻や欠勤をするようになった
- ☐ 趣味やスポーツ、外出をしなくなった
- ☐ 飲酒量が増える、刺激物を好んで食べたがる
- ☐ 1日のうち、特に朝方に調子がすぐれない様子だ

○相談窓口の紹介

施設名	電話番号	受付時間
岡山県備中保健所保健課★ (心の保健福祉班)	086-434-7057	8:30~17:15
岡山県精神保健福祉センター (心の電話相談)	086-272-8835	月・水・木 9:30~16:00 (12~13時を除く)

★備中保健所での精神科医による相談日(第1・3金曜及び第4水曜の午後:要予約)ご家族・職場の方からの相談も受けています。
※他にお住まいの市町にも相談窓口があります。直接お尋ね下さい。



○この他にも、保健所では、アルコール等の依存に関する問題やひきこもり、自死遺族わかしあいの会等幅広く心の問題について取り組んでいます。
お気軽にご相談下さい。

電気自動車のある暮らしをあなたに



撮影:河田雅史

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

ウイングバレイの皆様には日ごろより三菱自動車の拡販にご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。昨年、3月東日本では未曾有の震災に見舞われ各メーカーが減産を余儀なくされる中、三菱自動車では皆様のご努力のおかげで生産を確保頂き重ねて厚くお礼申し上げます。

その震災では総社市のi-MiEV2台を直後に現地に送り込み、ガソリンが枯渇する中、いち早く回復した電力ライフラインにより医療活動に使用され活躍することが出来ました。被災者の方には大変喜ばれその活躍はN.Yタイムズ電子版にも掲載、岡山県産の電気自動車を広く世界に発信することが出来ました。

4月には12型i-MiEV



ミニキャブミーブの納車風景
12月19日 三菱自動車水島製作所平山副所長より
ゴールデンキーを受取るウイングバレイ晝田理事長

Vを発売、「G」「M」の2グレードの展開とし「M」グレードではお客様実質負担額が200万円を切り個人のお客様にも大変好評を得ております。また、12月にはミニキャブミーブを発売し電気自動車の新しい時代を切り拓いてまいります。

岡山支店

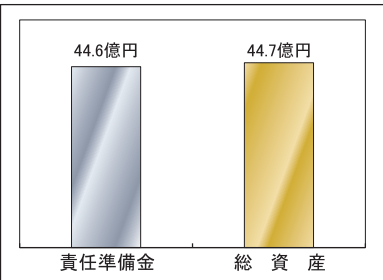
一般社団法人への移行が決定！ 新名称は「おかやま退職金基金協会」



新名称をご提案頂いた三菱工業(株) 眞田社長に
感謝状を贈呈する藤井特退金理事長

益法人制度改革により一般社団法人に移行し、名称も「おかやま退職金基金協会」に変更いたしますが、名称が変わる以外、制度的には

現在の加入者数は約4000名で、総資産は44億7千万円です。準備しておく必要のある資金は責任準備金として44億6千万円となります。これは加入者の方の確定している過去勤務分の必要資金に、将来給付に必要と予想される資金を加えたものです。総資産は将来を含めた必要な資金をカバーできる金額となっており、健全財政を維持しております。(グラフ参照)



また、掛金は流動資産を除けば全てを債券で運用しており、いずれも安全度の高い、国債・公債・金融債・その他事業債となっています。

一般社団法人移行後も従業員の方の福利厚生を力強くバックアップしていきます。

(事務局)

協会は、昭和49年(1974)に設立され、会員企業に働く従業員の皆さんの退職金の保全に欠かさない制度で、いかなることもあってもそれまで蓄えられてきた掛金は保全され、退職給付金や解約手当金といった形で支払われるという、心強い制度といえます。

今年4月には国の公